



西尾市公共施設白書 2013

(平成25年度版)



▲公共施設再配置モデル事業として一部がリニューアルされた一色地域交流センターの施設外観（上）とホール（下）→詳細はP12

平成26(2014)年3月

西尾市

はじめに

平成23年度から3冊目となる公共施設白書をお届けします。

西尾市では、この『西尾市公共施設白書 2013』の公表と同時に平成26年度から30年度までの5年間に着手する具体的な再配置プランなどをまとめた『西尾市公共施設再配置実施計画 2014→2018』を策定、公表します。第1次となる実施計画では、8つの再配置プロジェクトが予定されていますが、これらは基本的に施設白書を通じて抽出された施設の課題を解決するために立案されてきたものです。つまり、西尾市の公共施設再配置の動きの原点が白書であり、白書から判明する施設の課題や対策について、行政と市民の皆さんが同じ目線で検討してきた成果が実施計画と言えます。無論、実施計画に掲載されている施設データの多くは白書からの引用です。

さて、平成25年度版の公共施設白書は次の4つで構成されています。

第1は、公共施設再配置対象施設数の増減について報告します。

第2は、平成24年度から着手しています公共施設再配置モデル事業の進捗状況について紹介します。

第3は、平成24・25年度に建物の長寿命化と老朽化を調べるために実施しました公共施設の構造体（スケルトン）と内装・設備等（インフィル）の劣化調査の結果概要です。

第4は、白書の中心である施設別の現状データです。

第1次実施計画では3つのテーマ、「新たなまちづくりの出発点」「建物の安全性の確保」「官民連携の活用」を掲げています。まちづくりや官民連携（市民協働）というのは、市民の皆さんとともに公共施設再配置を進めていくという本市が基本計画で定めた再配置基本方針に基づくものです。

自治体の経営改革とも言うべき公共施設再配置は、市民の皆さんが、まず公共施設再配置の動きに対して理解や関心を高めていただくことが再配置推進のスタートラインになります。本白書がそうした市民の皆さんの関心を高める契機の一助となることを期待します。

平成26年3月26日

西尾市公共施設白書 2013 を読む前に

■用語の説明

- **白書**：『西尾市公共施設白書 2013』のことを指します。
 - **基本計画**：平成23年度に策定しました『西尾市公共施設再配置基本計画』のことを指します。
 - **実施計画**：具体的な再配置プランとして平成25年度に策定する『西尾市公共施設再配置実施計画2014→2018』のことを指します。
 - **公共施設再配置**：公共ファシリティマネジメント（FM）という経営管理手法の考え方を踏まえて、公共施設の現状について調査・分析した上で、将来を見通した最適な施設配置及び効率的・効果的な維持管理を実現していくことを基本計画（本編P59～60）で定義しています。
- ※上記以外の用語の定義などについては原則として基本計画及び実施計画をベースにします。また、施設別データの各項目の意味は白書P32～34の「施設データの見方」で詳しく解説しています。

■白書の対象施設・施設分類

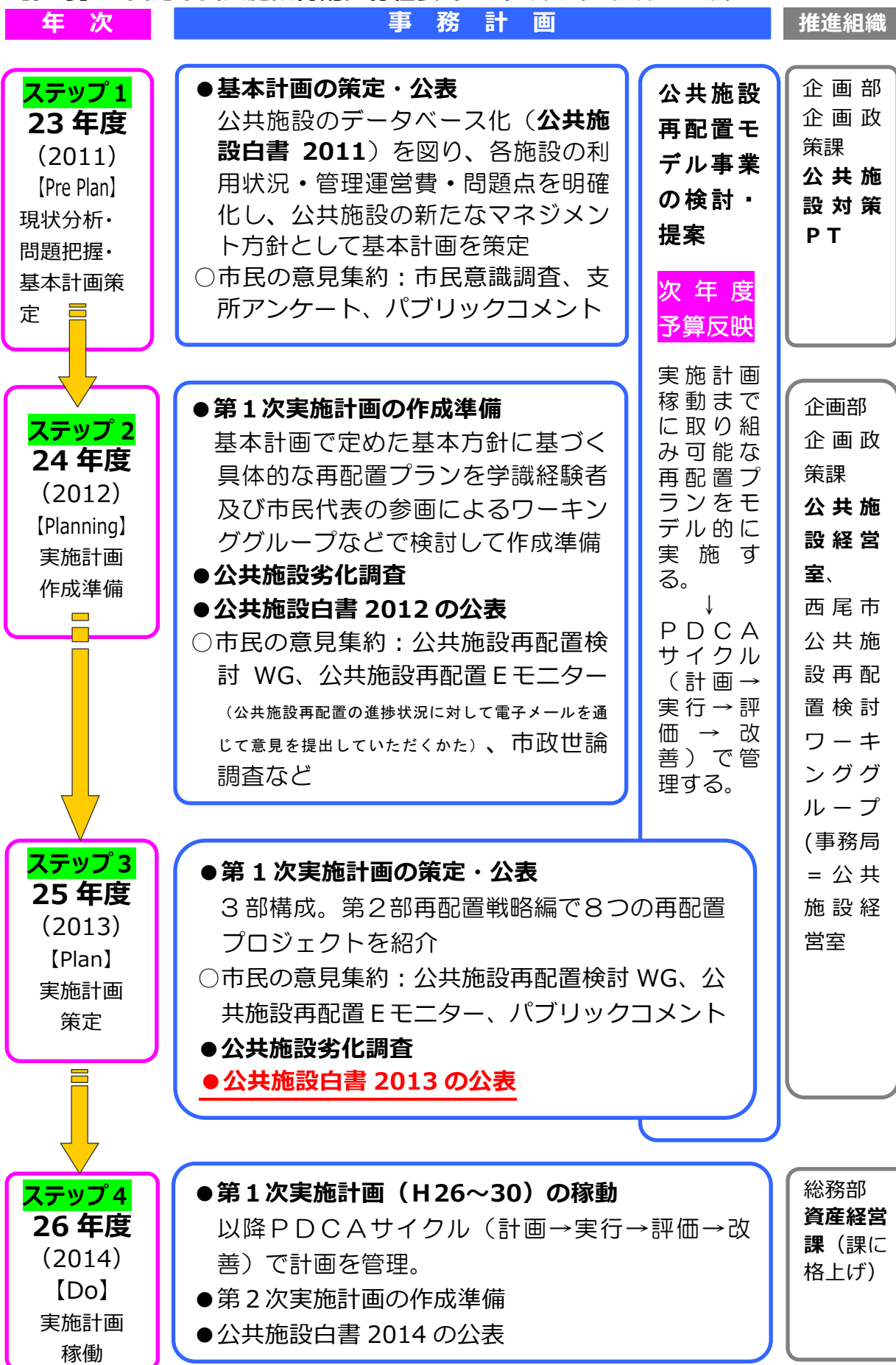
白書の対象施設は、一般的に「ハコモノ」と呼ばれる建物が対象で、基本計画（本編P8）で示している再配置対象の公共施設のことです。

白書の施設分類は、白書（P3）で示しています公共施設の本市独自の分類に準じています。これは、再配置における分析の視点から分類しているもので、一般的な公共施設の分類を示すものではありません。

■白書の施設別データ

施設別データの基準日は平成25年4月1日。施設所管課が施設のコスト等にかかる決算データに基づいて作成する施設ごとの現状データを集約したものです。複合施設などでコストの把握が施設単位でできない場合、面積按分するなどの一定の整理を行なっています。

なお、正規職員の人件費は平均給与額を基に計算しています。



はじめに

西尾市公共施設白書 2013 を読む前に

【参考】西尾市公共施設再配置行程表（ロードマップ）

- 1** 公共施設再配置対象施設総量の増減 1
～更新・用途変更・解体などにより353施設887棟に～
- 2** 公共施設再配置モデル事業の動き 7
～平成25年度は6事業のうち2事業が完了～
- 3** 公共施設劣化調査結果（概要） 18
～平成24・25年度に建物の長寿命化と老朽化について調査～
- 4** 公共施設再配置対象施設別データ 31
～353施設の現状データ（平成25年度版）を公開～
【白書 2013 施設別データ索引】